

次代の安心安全なまちづくりは

基本理念に基づき

実感でできる町をめざす



坂元 正春 議員

「人・もの・自然調和が奏でる躍動のまち」大崎町の、躍動のまちの原点は何か。想像されている町の姿、将来の町の想いは何か。

安心・安全が原点

町長

大崎町に住んでよかったですと思えるまちづくりをめざし、躍動感溢れた魅力ある「安心・安全」な町をつくる事が原点と想っている。町民の健康

未就学児は

来年度から

町長

小学校入学前の子どものための医療費の無料化は、22年4月1日から実施する。小・中学生については、必要性は高いと認識はしているが、県内で実施している所はまだ少ない。近隣の自治体の状況を見ながら、その時点で検討したい。

町有地利用 なぜ進まない

坂元議員

人口減少対策、若者の雇用策、定住促進をどう進めるか。雇用拡大に伴う定住化と活性化を図っていくとの決意であったが。

22年度に

確実に進める

町長

本町の人口は減少傾向にある。若者の町外への転出を抑制する事や、退

地域密着型が

望ましい

町長

国の施策では、小規模多機能型の施設や、地域密着型の居宅介護施設がこれからの方向性と捉えている。平成23年度までの介護保険事業計画の中で、介護保険料に影響が出ないよう施設の計画を策定したところである。

これからの 介護施設は

坂元議員

今後、施設介護サービスの受給者は年々増加する事が予想される。健全な事業運営のため、地域住民で連携して支え合う「共助・協働型の介護施設」の建設を提唱したいが。



一般住宅を利用した小規模多機能型介護施設

高齢者の社会参加 を促す方策の考えは

坂元議員

健康維持や生き甲斐のため、定年後も元気で働く「生涯現役」の方も多い。定年退職後の方々を人材として、各種団体で活躍して頂くことは、町の発展のため大きな原動力になると思う。元氣な高齢者の社会参加を促す働きかけが大事ではないか。

生涯学習講座の 場を活用して

町長

本格的な高齢社会を迎えている。経済社会の活力を維持していくために、高齢者が培ってきた知識、技能や経験など優れた能力を就業の場に活かしていただきたい。今後さらに生涯学習講座の体制を整えながら、社会参加を促していきたい。